



若築建設株式会社

東京本社 経営企画部

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-23-18

TEL:03-3492-0308 FAX:03-3492-1785

10,000 トン級フローティングドック（FD）の建造

当社は、国土交通省が展開する国土強靱化や防災・減災対策など、国民生活の安全・安心を確保するための社会資本整備、特に外郭施設を含む港湾整備事業に貢献するため、新しい作業船 10,000 トン級フローティングドック（FD）を建造します。新造船の建造スケジュールは、2027 年度中の完成を目指しています。

新造船では、以下のような特徴を有するため、既存の FD と比較して、施工現場の生産性の向上や労働安全性の確保、さらに環境に対する負荷低減効果が見込まれます。

○ジブクレーンの性能アップ、遠隔操作機能 <<生産性向上、安全性確保>>

既存の FD と比べて、ジブクレーンの性能を 50%程度アップすることで、鉄筋のユニット化や鋼製型枠の大型化などに柔軟に対応でき、施工現場の効率化、省人化に寄与できます。また、ジブクレーンを遠隔操作することで、吊荷の玉掛けとクレーンの操作を兼務できるため、省人化と労働安全性の確保に寄与できます。

○コンクリート打設装置、車両乗降設備 <<生産性向上>>

新造船は、コンクリート打設装置ディストリビュータを搭載することができるため、コンクリート打設作業の時間短縮、省人化、省力化が可能です。また、ランプウェイを常備しており、ポンプ車や資材運搬車が FD に直接乗降できるため、特に低階層での作業効率が確実に向上します。

○注排水ポンプの性能アップ、遠隔自動制御装置 <<生産性向上、安全性確保>>

既存の FD と比べて、注排水ポンプの能力を 60%程度アップすることで、ケーソン進水時の作業時間が短縮され、海象条件の急変にも柔軟に対応できます。また、注排水を遠隔集中制御（管理）することで、常に適正な船体姿勢を自動で保つことができ、ケーソン進水時の安全性を確保できます。

○蓄電システムの導入、外部電源からの電力供給 <<環境負荷低減効果>>

新造船に導入する蓄電システムは、クレーンやポンプが稼働していない低負荷時の余剰電力を蓄電して、発電機とハイブリッドで電力供給するシステムです。低負荷時のエネルギーロスを無くすることで、環境負荷を低減できます。また、将来 FD 係留岸壁に外部電源が導入されれば、ジブクレーンの動力源を外部電源とすることも可能であり、CO2 の排出を大幅に削減することができます。

(参考：完成イメージ図)



WAKACHIKU CONSTRUCTION CO., LTD.